



2026 年 9 月 24 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 宮 入 バ ル ブ 製 作 所

代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 西 田 憲 司

(コード番号：6495 東証スタンダード市場)

問 合 せ 先 経 営 管 理 本 部 経 理 部 長 井 上 洋 一

03－3535－5575

設備投資に関するお知らせ

― 高圧ガス容器用弁の生産設備自動化に係る投資について ―

当社は、2026 年 9 月 24 日開催の取締役会において、今後の事業成長に向けた生産能力の強化および生産基盤の整備を目的として、設備投資を実施することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、本設備投資は、2026 年 7 月 15 日付「第三者割当による行使価額修正条項付株式会社宮入バルブ製作所第 3 回新株予約権（停止要請条項付）の発行に関するお知らせ」において開示した資金使途に沿ったものであり、今後予定する設備投資の第一弾として実施するものです。

1. 設備投資の目的

当社グループは、LP ガス・高圧ガス等の供給・貯蔵・輸送に用いられる各種バルブおよび関連機器の製造・販売を主要事業としております。

当社が長年培ってきたバルブ製造技術を基盤として、今後の高圧ガス関連市場における需要に対応し、さらなる事業基盤の強化および収益力の向上を図るためには、生産能力の増強と生産体制の強化が重要であると考えております。

このため、今回の設備投資の第一弾として、当社の主要製品の一つである高圧ガス容器用弁の生産設備への投資を実施することといたしました。

本投資により、高圧ガス容器用弁の生産能力を強化するとともに、生産工程の効率化および安定した製品供給体制の構築を図ってまいります。

2. 設備投資の概要

項目	内容
投資対象	高圧ガス容器用弁の生産設備
投資場所	当社甲府工場（山梨県南アルプス市）
投資内容	高圧ガス容器用弁の自動組立に係る生産設備の導入・更新・増強
投資総額	約9億円
投資期間	2026年9月～2027年3月（予定）
稼働開始	2028年8月以降、順次稼働予定
資金調達方法	第3回新株予約権の行使による調達資金および自己資金等

3. 高圧ガス容器用弁の生産設備への投資

高圧ガス容器用弁は、高圧ガスを安全に貯蔵・輸送するための重要な部品であり、高い安全性および信頼性が求められる製品です。今回の設備投資では、高圧ガス容器用弁の加工設備、洗浄機等の導入・更新・増強を行い、自動組立による生産能力向上を図ります。

これにより、生産能力の向上に加え、製造工程の効率化および品質管理体制の強化を図り、今後の需要拡大に対応した安定的な生産体制を構築してまいります。また、生産設備の更新・増強を通じて、製造工程における生産性の向上および設備の安定稼働を実現し、高圧ガス容器用弁に対する顧客ニーズに柔軟に対応できる生産基盤の構築を目指します。

4. 今後の設備投資について

今回の高圧ガス容器用弁の生産設備への投資を第一弾として、当社は今後も事業環境および需要動向を踏まえながら、必要な生産設備の更新・増強および生産基盤の整備を段階的に進めてまいります。

これらの設備投資を通じて、生産能力の強化、生産効率の向上および製品品質の安定化を図り、既存事業の競争力を高めるとともに、中長期的な事業成長につなげてまいります。

5. 第3回新株予約権による調達資金との関係

今回の設備投資は、2026年7月15日付で開示した第3回新株予約権の発行に際して予定していた資金使途に沿ったものであり、同新株予約権の行使により調達する資金の一部を、本設備投資に充当する予定です。

今回の設備投資を第一弾として、調達資金を生産設備の強化等に活用することにより、当社の生産基盤を強化し、将来の事業成長および収益力の向上につなげてまいります。

なお、新株予約権の行使状況その他の事情により、実際の調達額および資金の充当期期等が変更となる可能性があります。その場合には、適時適切に開示いたします。

6. 今後の見通し

本設備投資による2027年3月期の業績への影響は軽微であります。なお、今後、重要な影響が見込まれる場合には速やかにお知らせいたします。

当社は、今回の設備投資を通じて生産体制を強化するとともに、必要な設備投資を段階的に実施することで、持続的な事業成長と企業価値の向上を目指してまいります。

以上